

デカンショ節

でかんしょぶし

市指定

所在地：篠山地方

デカンショ節 採譜 前川澄夫

♩ = 92

たん ば さ さ やーま
 やまがの さる が アヨイヨイ ほ
 なの おえ ど で し ば い す
 る アヨーイヨイ デッカンショ

篠山の民謡「デカンショ節」は、江戸時代から篠山一帯で親しまれていた「ミツ節」という盆踊り唄が元唄と言われる。「盆のお月さんはまるこてまるい……」の唄が今日のデカンショ節の中で唄われるのはその名残である。

明治時代中期になると、当時ミツ節の別名として篠山城下で唄われた「デッコンショ節」が、篠山出身の学生によって東京の学生仲間へ持ち込まれ愛唱されるようになる。学生の間で流行すると、本来の素朴なメロディにパンカラな風格が加味され、囃しことばも「デッカンショ」に変形する。それが篠山へ里帰りし、今にデカンショ節として唄いつがれている。